



ジエトフェンカルブ含有の
統一シンボルマークです。

ワイドな適用!!
シャープな切れ味!!

特長

- ① 耐性菌と感受性菌を同時に防除する
画期的な薬剤です。
- ② 予防効果、治療(病斑進展阻止)効果を有します。
- ③ 灰色かび病と混発する他病害の同時防除が
期待できます。

果樹・野菜・豆用殺菌剤

協友

ゲッター[®]水和剤

ゲッターは住友化学(株)の登録商標です。

農林水産省登録第23366号

灰色かび病防除に

果樹・野菜・豆用殺菌剤
協友 **ゲッター**® 水和剤

有効成分：ジエトフェンカルブ・・・12.5% チオファネートメチル・・・52.5% 殺菌剤分類 **10.1** 人畜毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指すという通称）

【適用病害と使用方法】

2024年10月現在の登録内容

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	10アールの 当散布量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	下記を含む農薬の総使用回数		使用 方法				
						ジエトフェンカルブ	チオファネートメチル					
かんきつ (みかんを除く)	灰色かび病	1500~2000	200~ 700ℓ	開花期	5回以内	5回以内	8回以内 (塗布は3回以内、散布及び 無人航空機散布は合計5回以内)	散 布				
	そうか病	1500		21日前まで								
みかん	灰色かび病	1000~1500		7日前まで	1回	3回以内	8回以内 (塗布は3回以内、散布、空中散布 及び無人航空機散布は合計5回以内)					
		1000~2000		開花期								
ぶどう	灰色かび病	1000~1500	45日前まで	3回以内	3回以内	5回以内 (塗布は3回以内、休眠期の散布は 1回以内、生育期の散布は1回以内)						
うめ	黒星病	1000	21日前まで									
	灰色かび病	1000~1500	7日前まで									
かき	落葉病	1000	100~ 300ℓ	収穫開始 21日前まで	3回以内	6回以内 (塗布は3回以内、散布は3回以内)	10回以内 (塗布は3回以内、休眠期の散布は 1回以内、生育期の散布は6回以内)					
	炭疽病											
いちご	炭疽病	1000	100~ 300ℓ	収穫開始 21日前まで	3回以内	6回以内	4回以内 (種子への処理は1回以内、 は種後は3回以内)	散 布				
だいず	紫斑病	乾燥種子 重量の0.5%	—	は種前	1回	4回以内 (種子粉衣は 1回以内)	4回以内 (種子への処理は1回以内)		種子 粉衣			
いんげんまめ	灰色かび病	1000~1500	100~ 300ℓ	14日前まで	3回以内	4回以内	5回以内 (種子への処理は1回以内、 は種後は4回以内)	散 布				
	菌核病	1000		7日前まで	3回以内	3回以内	4回以内 (種子への処理は1回以内、 は種後は3回以内)					
えだまめ	紫斑病	1500		前日まで	3回以内	3回以内	4回以内 (種子への処理は1回以内、 は種後は3回以内)					
	炭疽病			14日前まで	4回以内	4回以内	5回以内 (種子への処理は1回以内、 は種後は4回以内)					
さやえんどう 実えんどう	灰色かび病	1000~1500	100~ 300ℓ	7日前まで	5回以内	5回以内	7回以内 (種子への処理は1回以内、苗根部 浸漬は1回以内、無人航空機散布は 3回以内、散布は5回以内)					
あずき	菌核病	1000	100~ 300ℓ	14日前まで	4回以内	4回以内	6回以内 (種子への処理は1回以内、 は種後は5回以内)	散 布				
	輪紋病	1500		7日前まで	5回以内	5回以内	4回以内 (種子への処理は1回以内、 は種後は3回以内)					
たまねぎ	灰色腐敗病	1000		前日まで	5回以内	5回以内	6回以内 (種子への処理は1回以内、 は種後は5回以内)					
トマト	灰色かび病	1000~1500		7日前まで	3回以内	3回以内	4回以内 (種子への処理は1回以内、 は種後は3回以内)					
ミニトマト	菌核病	1500	100~ 300ℓ	前日まで	5回以内	5回以内	6回以内 (種子への処理は1回以内、 は種後は5回以内)					
ピーマン	黒枯病	3000						7日前まで	2回以内	3回以内	3回以内 (種子への処理は1回以内、 散布は2回以内)	
	なす	灰色かび病							1000~1500	2回以内	2回以内	3回以内 (種子への処理は1回以内、 は種後は2回以内)
きゅうり	褐斑病	1500						100~ 300ℓ	7日前まで	5回以内	5回以内	4回以内 (種子への処理は1回以内、 は種後は3回以内)
すいか	炭疽病											
レタス	菌核病	1500	7日前まで	2回以内	3回以内	3回以内 (種子への処理は1回以内、 は種後は2回以内)						
キャベツ	菌核病	1500		2回以内	2回以内	3回以内 (種子への処理は1回以内、 は種後は2回以内)						
はくさい	菌核病	1500	100~ 300ℓ	7日前まで	5回以内	5回以内	4回以内 (種子への処理は1回以内、 は種後は3回以内)					
ズッキーニ	菌核病	1500						2回以内	3回以内	3回以内 (種子への処理は1回以内、 は種後は2回以内)		
花き類・ 観葉植物 (ひまわり、ゼラニウムを除く)	灰色かび病	1000						200~ 700ℓ	感染期~ 発生初期	5回以内	5回以内	5回以内
ひまわり ゼラニウム	灰色かび病	1000										
樹木類 (ハイドランジア、 やなぎを除く)	灰色かび病	1000	200~ 700ℓ	—	5回以内	5回以内	5回以内					
やなぎ	炭疽病	1000						200~ 700ℓ	—	5回以内	5回以内	5回以内
ハイドランジア	輪斑病	1000	200~ 700ℓ	—	5回以内	5回以内	5回以内					
	灰色かび病	1000						200~ 700ℓ	—	5回以内	5回以内	5回以内

上手な使い方

- 1 予防的散布を行なってください。多発生となる前に抑えることが重要です。
 - 2 本剤のみの連用はさけ、作用性の異なる薬剤と組み合わせてください。
 - 3 耕種的防除と組み合わせてください。
- 本剤の長い残効性と的確な散布タイミングにより、通常2~3週間あけられますので、本剤の使用回数をあまり増加させないようご注意ください。

【使用上の注意事項】

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用はさけてください。
- ぶどうに使用する場合、幼果期以降の散布は果粉の溶脱や果実の汚れを生じるおそれがあるので注意してください。
- だいずの紫斑病に対しては、落花後~若莢期に2~3回散布してください。
- きゅうりに使用する場合、高温時の散布では、薬害を生じる場合がありますのでご注意ください。
- カラー及び花はずに使用する場合は、湿水状態では使用しないでください。また使用後14日間は入水しないでください。
- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため本剤の過度の連用はさけ、作用性の異なる薬剤と組み合わせで輪番で使用してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。
- 本剤を使用した場合には、ベノミルを含む剤を使用しないでください。ただし、種子への処理、種粉への処理及び塗布処理は除きます。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 使用の際は農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 小児の手の届く所には置かないでください。

2024年10月作成 NYP P4202410001